市民のみなさんからお預かりした税金がどのように使われているのかをお知らせするため、年2回「財政事情の公表」 を行っています。今回は平成21年度決算の概要と平成22年度上半期の財政状況についてお知らせします。

問財政課☎内線2126

市の財政は健全に運営されています

平成19年6月に成立した「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づ き、財政の健全度を測る4つの指標(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公 債費比率、将来負担比率)と公営企業(下水道事業)の資金不足比率について算定 し公表します。

いずれかの指標が「早期健全化基準」以上になると、議会で「財政健全化計画」 を議決し自主的な改善努力により財政健全化を図ることになります。また、「財 政再生基準」以上の指標がある場合は、いわゆる「財政破たん」とみなされ、国な どの関与による財政再建に取り組むことになります。

平成21年度決算から算出した市の各指標は、いずれも基準値を大きく下回り、 財政の健全性が維持されています。今後も「三鷹市自治基本条例」で定める自治 体経営の趣旨に従い、適切な情報公開・提供を行いながら、健全な自治体経営 を進めていきます。

健全化判断比率など(平成21年度)

指標	三鷹市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 標準財政規模(※)に対する一般会計などの実質 赤字額の割合	赤字額が発生してい ないため、表示される 数値はありません。	11.50%	20.00%
連結実質赤字比率 標準財政規模に対するすべての会計の実質赤字 額(または資金不足額)の割合	赤字額が発生してい ないため、表示される 数値はありません。	16.50%	40.00%
実質公債費比率 標準財政規模などを基本とした額に対する実質 的な公債費(市の借金の返済金)に充てられた一 般財源の額の割合(3カ年平均値)	5.1%	25.0%	35.0%
将来負担比率 標準財政規模などを基本とした額に対する一般会 計などが将来負担すべき実質的な負債額の割合	35.6%	350.0%	
資金不足比率 公営企業での資金不足額の事業規模に対する割合	赤字額が発生してい ないため、表示される 数値はありません。	20.0%	

※標準財政規模

借方

(1)現金・預金

資産合計

(2)未収金

(3)その他

流動資産合計

地方公共団体の財政規模を比較するための数値として、地方税や地方交付税などの経常的に収入 される一般財源の額を全国統一的な算式により算出したものです。いわば使途が特定されない財 源である一般財源の大きさであり、基本的な財政指標や財政健全化指標の分母となる数値です。

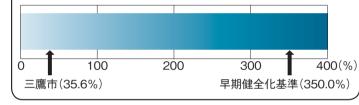
◎実質公債費比率

数値が高いほど、公債費などによる財政負担の度合いが高いと判 断されます。早期健全化基準は25.0%、財政再生基準は35.0%ですが、 三鷹市はこれを大きく下回る5.1%にとどまっています。



◎将来負担比率

数値が高いほど、将来的に財政が圧迫される可能性が高いと判断 されます。早期健全化基準は350.0%ですが、三鷹市はこれを大きく 下回る35.6%にとどまっています。



平成21年度の財務諸表

普通会計

財務状況を包括的にとらえていただくために、市では毎年、財務諸表を作成しています。 平成21年度決算に基づいたバランスシート、行政コスト計算書、キャッシュ・フロー計算書は次のとおりです。

貸方

〔正味資産の部〕 正味資産合計

負債・正味資産合計

連結

▶ バランスシート(普通会計・市全体・連結)(平成22年3月31日現在)

市全体

51.1

31.7

0.0

82.8

2,451.6

(金額:億円) 連結

1,816.9

2,603.1

◀バランスシート(貸借対照表)とは バランスシートは、年度末時点で市が保有す

るすべての資産・負債などのストックの状況を 示すものです。主に単年度での収支状況を示す 自治体会計だけでは把握しにくい、市が行政活 動を行ううえでの財産の状況、負債(借金)の状 況などについての情報を見ることができます。

市では、①普通会計バランスシート、②すべ ての会計を加えた市全体のバランスシート、③ 出資団体を加えた連結バランスシートの3種類 を作成しています。

▶行政コスト計算書

(平成21年4月1日~22年3月31日)

(+1)	(2144710~2243)	Л ОТД	,
行政コスト		金額(億円)	
1	人にかかるコスト		102.9
2	物にかかるコスト		148.6
3	移転支出的なコスト		278.6
4	その他のコスト		8.9
	行政コスト	a	539.0
	収入項目		金額(億円)
1	使用料・手数料等	b	33.8
2	国庫(都)支出金	G	128.9
3	一般財源	d	398.8
収	収入(b + 0 + d)		561.5
4	正味資産国庫(都) 支出金償却額	•	6.3
5	期首一般財源等		1,469.7
差引(③ + ① - ②) 一般財源等増減額			28.8
6	期末一般財源等		1,498.5

〔資産の部〕 [負債の部] 1. 固定資産 1. 固定負債 2,356.3 (1)有形固定資産 (1)地方債 2.073.0 2.261.1 373.0 486.2 627.1 (2)債務負担行為 (1,486.5)(うち十地) (1.464.0)(1,576.7)0.0 0.0 0.0 (2)無形固定資産 0.0 8.5 9.0 (3)退職給与引当金 108.4 108.4 110.2 固定資産合計 2,073.0 2,269.6 (4) その他 2.365.3 0.0 0.0 2.6 2. 投資等 固定負債合計 481.4 594.6 739.9 (1)投資及び出資金 19.5 19.5 4.0 2.流動負債 (2)貸付金 0.1 0.1 0.1 (3)基金 73.6 79.6 83.4 流動負債合計 39.1 44.0 46.3 (4)基本財産 0.0 0.0 13.0 投資等合計 786.2 93.2 99.2 100.5 負債合計 520.5 638.6 3. 流動資産

55.7 32.8

48.8

137.3 2,603.1

▶ キャッシュ・フロー計算書(平成21年4月1日~22年3月31日)

48.8

21.5

0.0

70.3

2,236.5

				/
	区分			金額(億円)
1 行政活動によるキャッシュ・フロー				90.0
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			△ 92.5	
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			△ 10.4	
4 現金および現金同等物の増減額(1~3の増減)				△ 12.9
5 現金および現金同等物の繰越残高				61.7
6	現金および現金同等物の年度末残高	内訳	財政調整基金	35.1
			歳計現金	13.7

行政コスト計算書とは▶

1,716.0

2,236.5

普通会計

市全体

行政コスト計算書は、企業会計 における損益計算書の自治体版で、 資産形成以外の人的サービスや給 付サービスにかかった費用と、そ の財源を示しています。

1,813.0

2,451.6

▲キャッシュ・フロー計算書とは

キャッシュ・フロー計算書は、自治体の活動を ①行政活動、②投資活動、③財務活動に区分し、 それぞれの資金収支の状況を示したものです。

平成21年度決算の詳細は、「平成21年度各会計決算概要」として1冊の冊子にまとめています。この冊子は、相談・情報センタ ー(市役所2階)や図書館で閲覧できるほか、同センターで販売(1冊200円)しています。また「決算概要」の全文、「財政事情の 公表(抜枠)」、バランスシートなどの財務諸表の詳細は、市のホームページでもご覧いただけます。